

2022年 8月23日

**会員各位**

日本ライセンス協会　関西研修委員会

〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4

 大阪科学技術センター内

TEL.06-6443-5320 FAX.06-6443-5319

**第４５８回　関西月例研究会（ＷＥＢ開催）**

**「米国シリコンバレーにおけるバイオやハイテク産業から学ぶ**

**今後の日本のビジネス戦略への提言」**

**開催日：** **２０２２年９月３０日（金） ９：３０－１２：３０**

**場　所：** **ＷＥＢ開催（Zoom利用：米国西海岸からのライブ配信）**

**講　師：****橋本 康弘 氏（株式会社シリコンバレーテック代表取締役社長、**

**国立循環器病研究センター理事長特命補佐 他）**

拝啓　会員の皆様方には益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

　また、平素より当協会の活動にご協力、ご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、９月度の月例研究会は、いくつもの要職に就かれ米国スタンフォードを拠点にご活躍で、グローバル企業での研究開発だけでなく、ご自身も、ベンチャー起業や会社経営のご経験があり、バイオやハイテク産業における企業のコンサルタントやブレインとして製品化や事業化におけるご経験・実績が大変豊富な橋本康弘先生をお招きし、米国西海岸からライブ配信形式にて特別に、シリコンバレー他での最新動向も交えたご講演を戴きます。

（★今回は、時差の関係で開催時間が通常とは異なり、**9;30-12:30となります**のでご注意下さい。）

**講師と講演の紹介**

　私自身の経験に基づき、米国を中心としたバイオテクノロジーの進展を振り返ると共に、米国のバイオテクノロジーおよびハイテクの最新の状況を分析し紹介したい。

1990年当時、米国西海岸の大学で基礎医学研究に従事。

　その頃、シリコンバレーにある製薬企業Syntex（のちRache BioScience）のアドバイザーとして頻繁に現地を訪問。

1992年に、Syntexの研究所のバイオテクノロジー部門の部長に就任。

　アカデミアから企業という立場だけではなく、米国東部アイビーリーグから西部シリコンバレーへの異文化体験は大きなショックであった。Syntexの研究所はスタンフォードの所有敷地内にあり、スタンフォードの教授や研究者が当研究所の様々な役職を兼務していた。その周辺にはスタンフォード発のバイオベンチャーが多数生まれていた頃で、遺伝子配列決定技術や組み替え遺伝子を利用した医薬品開発を目指したベンチャー企業が続々と誕生していた（DNAチップ などもその一例）。その頃には抗体医薬品の基本技術を研究開発するベンチャーも、シリコンバレーには多く見られた。自身も抗体医薬品の研究開発に係り、ロシュを代表し日本企業に対し抗体医薬品の共同開発を提案。

2000年に、自身で2社目となるバイオベンチャーを日本で起業。

　両社とも遺伝子を利用したビジネス。一方は上場、他方は上場企業に吸収という形でEXITを達成。（この当時の日本のベンチャーに対する価値観等から、日本でのバイオベンチャーは米国のような成長は容易ではないと感じた。）

2014年からシリコンバレーに戻る。

　1990年代に知り合ったシリコンバレーのバイオベンチャー創業家の先輩などと交流を深め、デジタルテクノロジーや医療関連ベンチャーにエンジェル投資を行った。またシリコンバレーでヘルスケアを専門とする投資銀行を手伝い、その経験を生かし現在も数社の医療系ベンチャーの支援も行っている。私の職歴や投資先の詳細に関してはWebsite（<https://www.svtech.co.jp/profile>) を参照していただきたい。

昨年より国立循環器病センターの理事長特命補佐に就任。

　知財産業化の世界戦略を手伝い、創業間もないベンチャー企業だけではなく、世界の大手医療機器メーカー等とも交流を深め、国循の知財国際戦略を推進している。

今回の講演中では、コロナ感染対策における米国のバイオテク産業の強みも解説したい。

**★ 今回のご講演のトピックス**

（1）米国バイオテク産業の発展の歴史。

（2）米国バイオテク産業の最新状況の分析。短期間でコロナワクチンや治療薬開発を

成し遂げた要因分析による、バイオテクやハイテク技術の成功分析。

（3）世界のバイオテク技術開発や応用の今後の展望。

**講師ご略歴**

1983年　大阪大学医学部卒業

1983年～1985年 ハーバード大学医学部 博士研究員

1992年～1993年　ペンシルバニア大学　准教授

1992年～1996年 シンテックス／ロシュ　免疫研究所 所長 （茨城県）

1997年～1999年 日本グラクソ株式会社 筑波研究所 遺伝研究部長　（茨城県）

2000年～2013年 メディビックグループ創業者、社長兼CEO（2003年IPO東京証券取引所）

2014年～2020年 日本ファーマコゲノミクス学会副会長

2014年～現在　株式会社シリコンバレーテック（投資会社・大阪）代表取締役社長

2021年～現在　国立循環器病研究センター理事長特命補佐

　　本講演は、バイオやハイテクのみならず様々な分野の企業、ベンチャー、アカデミア等で、広く知財、法務、ライセンス、事業開発（BD）、開発戦略その他の実務に関る方々にとっても、示唆に富む有用かつ最新の情報が得られる貴重な機会と思われます。会員の皆様方の多数のご参加をお待ちしております。

　また、月例研究会の終了後に懇親会の開催はかないませんが、オンライン上ではありますが講師の先生を囲み１５分程度のフリーディスカッションタイム（質疑応答）をご用意いたします。ご都合かないます方は、是非オンライン上にお残り戴き、講師とのフランクな意見交換やネットワーク構築にご活用いただけましたら幸いです。

＊本研究会のWeb受講には、Ｚｏｏｍのインストールと事前登録が必要です。ブラウザからはご参加いただけません。使用するデバイス（PC、タブレット、スマートフォン等）に事前にＺｏｏｍをインストールし、３営業日前（9/27）にお送りするURLより事前登録を行ってください。

＊Ｚｏｏｍを初めて利用される方は、事前に(<https://zoom.us/test>)より接続テストを行い、ご自身のデバイスから接続できることをご確認いただけましたら幸いです。

＊お申込み１件につき、１名様のみ参加可能です。複数台のＰＣ･デバイスを接続すること、１台のＰＣ･デバイスから複数名で参加すること、講演内容の録画・録音・画面キャプチャは行わないでください。

＊開催５分前までに接続してください（３０分前から接続可能です）。

＊講演中はカメラ・マイクをオフにしてください。

＊本研究会は、日本弁理士会の継続研修としての認定を申請中です。本研修を受講し、所定の申請をすると、外部機関研修として選択科目：２．５単位が認められる予定ですので、申込フォームの「弁理士登録番号」欄に弁理士登録番号をご記入ください。

**１．[研究会]**

　開催日：２０２２年９月３０日（金） ９：３０－１２：３０

場 所：ＷＥＢ開催（Zoom利用：米国西海岸からのライブ配信）

講 師：橋本 康弘 氏（株式会社シリコンバレーテック代表取締役社長、

国立循環器病研究センター理事長特命補佐 他）

司 会：関西研修委員　浅野 滋啓（国立循環器病研究センター・産学連携本部）

参加費：正会員 ４,０００円（同一組織のメンバーを含む）、継続会員 １,５００円

一般 ８,０００円

**２．［懇談会］**

なし（講師を囲んでの１５分程度のフリーディスカッションタイムをご用意いたします）

**３．［参加申し込み］**

* 申込期限：２０２２年９月２０日（火）

＊LESJウェブサイト【<http://www.lesj.org/workshop/monthly/west.php>】よりお願いします

（LESJウェブサイト以外からのお申込みは受け付けておりません）

**４．［参加費振込期限］**

２０２２年９月２２日（木）

以上****